

企画展

「アーミッシュ・キルトを訪ねて―そこに暮らし、そして世界に生きる人びと」
無地の服を着て馬車を駆る北米のキリスト教再洗礼派アーミッシュが布の端切れを生かしてつくるキルトは、その鮮やかな色合いや細やかなステッチで人びとを惹きつけています。2011年より収集してきたみんなくコレクションを素材として、キルトに織りこまれた日々の暮らしや物語、キルトが結ぶ世界との交流をたどりませう。



無地の女兒用ワンピース

■関連イベント
ギャラリートーク
日時 12月20日(木) 14時～
講師 鈴木七美(本館教授)
会場 本館企画展示場
※申込不要、要展示観覧券

企画展
「旅する楽器―南アジア、弦の響き」
南アジアの弦楽器は、中央アジアや西アジアから伝えられた楽器が改良され定着したものが多く、そのいくつかは南アジアでの変容を経て東南アジア、東アジアにも伝えられてきました。楽器が広大な地域を旅して伝播していく様子を、ユーラシアにおける長期的な文化交流を体験してください。



シーク教徒が演奏する擦弦楽器タウス

■年末年始展示イベント
「いのしし」
2019年の干支である「いのしし」をテーマに、みんなく所蔵の資料や写真を展示し、世界各地の「いのしし」を紹介します。

会期 12月6日(木)
～2019年1月22日(火)
会場 本館ナビひろば



仮面(ペルー)

■関連イベント
ワークショップ
「かざってボン!へんしんいのしし」
世界中の人びとが、いのししの牙をつかってからだをかざっています。きみなら、どんな風にかざるかさるかな? スタンプや色えんぴつなどをつかって絵を描くワークショップです。

日時 12月9日(日)、1月14日(月・祝)
各日10時～17時(16時30分受付終了)
会場 本館エントランスホール
※当日随時受付、先着200名、参加無料(ただし、本館展示場をご覧になる場合は、展示観覧券が必要です。)
※未就学児は保護者同伴でご参加ください。

みんなくミュージアムパートナーズ
「干支の亥(いのしし)で絵馬を作ろう」
本館展示場にある「いのしし」をスケッチするワークショップです。

日時 1月13日(日)10時30分～17時
(15時30分受付終了)
受付場所 本館エントランスホール
※当日随時受付、先着80名、参加無料(要展示観覧券)
※参加対象者3歳以上、未就学児は保護者同伴でご参加ください。

みんなくミュージアムパートナーズ
「おりがみで遊ぼう!干支シリーズ(亥)」
おりがみで干支の「いのしし」を折るワークショップです。

日時 1月14日(月・祝)10時30分～11時、11時～11時30分、11時30分～12時、13時～13時30分、13時30分～14時、14時～14時30分
(各回20～30分程度)
会場 本館エントランスホール
※当日受付、各回先着10名、参加無料
※参加対象者5歳以上

みんなく映画会 第44回ワールドシネマ「ママのお客」
涙あり笑いありのイラン映画の名作を上映。食卓をとおして、イランの人びと、その日常生活や社会を知りたいと思います。映画の詳細は、本号18～19ページの「シネ倶楽部M」をご参照ください。
日時 2月23日(土)13時30分～16時30分(13時開場)
会場 ホテル阪急エクスパーク 多目的ホール(オービットホール)
(定員400名)
※申込不要、参加無料
※参加券を当日11時から多目的ホール(オービットホール)前受付にて配布

みんなく映画会 みんなく映像民族誌シネター
本館オリジナルの映像作品である「みんなく映像民族誌」シリーズのなかから選定した作品を上映後、監修者によるトークをおこないます。
会場 淀川文化創造館 シアターセブン(定員60名)
司会 福岡正太(本館准教授)
※申込不要、参加無料

「カラハリ砂漠の狩猟採集民」
日時 1月12日(土)14時～16時(13時30分開場)
解説 池谷和信(本館教授)
「ネパールの30年」
日時 1月26日(土)14時～16時(13時30分開場)
解説 南真木人(本館准教授)

みんなくセミナー

日時 12月15日(土)13時30分～15時(13時開場)
会場 特別展示館
参加費 無料
第486回

毛沢東バッジの過去と現在
講師 韓敏(本館教授)
毛沢東の肖像が入ったバッジの出現は、1940年代に遡ることが出来ます。現在、目にするバッジは、主に1960年代後半に中国各地で集中的に製造されたものです。当時、バッジは、人びとの胸につけられ、スタンダードなファッションとして定着し、イベント、儀式や写真撮影の時に不可欠な必需品でした。バッジの関係者の語りをお聴きし、時代の装飾品の系譜とその意味の変化を追ってみます。



観光地や骨董品店で流通しているバッジ(瀋陽、2003年)

みんなくワークショップ・サロン

研究者(話者)
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」「調査している地域(国)の最新情報」「みんなく展示資料」について分かりやすくお話しします。
12月2日(日)14時30分～15時 本館第7セミナー室
ポリビア・アマンンの旅
話者 齋藤晃(本館教授)

12月9日(日)14時30分～15時15分 本館第4セミナー室
声の力―新聞連載を通じて考えたこと
話者 広瀬浩一郎(本館准教授)
12月16日(日)14時30分～15時15分 アフリカ展示場
ザンビア、チエワの村での暮らし
話者 吉田憲司(本館館長)
※12月23日(日・祝)のワークショップ・サロンはお休みです。
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
ただし、2日(日)、9日(日)は展示観覧券不要

巡回展
「工芸継承―東北発、日本インダストリアルデザイン―の原点と現在」
会期 12月6日(土)～19日(水)
会場 静岡文化芸術大学
静岡文化芸術大学
西ギヤラリー、中央ホール、総合演習室
静岡県浜松市中央区中央2-1-1
開館時間 平日 10時30分～17時
土・日 10時～18時
主催 静岡文化芸術大学、国立民族学博物館
共同企画 東北歴史博物館

●休館日のお知らせ
年末年始は12月28日(金)から1月4日(金)まで休館します。年始は1月5日(土)から開館します。
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

友の会

友の会講演会

会場 本館第5セミナー室(当日先着順・定員96名)
※会員無料(会員証提示)、一般500円
第484回 2019年1月5日(土)13時30分～14時40分
南の島の贈りもの、民博からのお返し
―研究成果の現地還元とは―
講師 須藤健一(堺市博物館館長、本館名誉教授)

人類学者は自身の好奇心と学的関心から飛躍してフィールドワークをおこないます。これが現地の人びとの好意に甘えて衣食住をともにし、こぼれや生き方や世界観などを知るための調査方法です。有形無形の文化財も収集します。調査で学んだ貴重な情報や知識や技術や造形は、研究の源となり、博物館の「お宝」です。一方、それは現地の人びとにとってどんな意味や価値があるのでしょうか。人類学者と被調査者とのかわりについて再考します。
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。
第485回 2019年2月2日(土)13時30分～14時40分
アンデスの箱型祭壇が伝えるもの
―農村の生活から歴史記憶まで―
講師 八木百合子(本館助教)

東京講演会
第124回 12月8日(土)13時30分～14時40分
野次から応援へ―応援の比較文化論の試みから
講師 丹羽典生(本館准教授)
会場 モンペル御徒町店4Fサロン
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。
※要事前申込(定員60名)、会員無料、一般500円

第80回体験セミナー
長崎県、潜伏キリシタンの足跡を訪ねる
―生月島、平戸島、上五島を訪ねる―
日程 2019年2月22日(金)～25日(月)
【申込締切:1月11日(金)】

